

正の数・負の数

1 次の表は，ある町の月曜日から金曜日までの最低気温と最高気温を表したものである。最低気温と最高気温の差が最も大きかった曜日を答えなさい。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
最低気温 (℃)	- 2	- 3	- 6	+ 1	- 4
最高気温 (℃)	+ 7	+ 9	+ 4	+ 8	+ 7

答え

2 右の表は，3 人の生徒 A・B・C の身長を，上の段は 160cm を基準として，下の段はクラスの平均身長を基準として，それぞれ基準より何 cm 高いかを正負の数で表したものである。次の問いに答えなさい。

生 徒	A	B	C
160cm との差 (cm)	+ 4	- 2	ア
クラスの平均身長との差 (cm)	+ 7	+ 1	- 3

(1) クラスの平均身長を求めなさい。

答え

(2) 表のアに当てはまる差を求めなさい。

答え

3 自然数の集合において，計算結果が常に自然数になるとは限らないものを，次のア～エの中から選び，記号で答えなさい。

(ア，加法 イ，減法 ウ，乗法 エ，除法)

答え

正の数・負の数

- 1 次の表は、ある町の月曜日から金曜日までの最低気温と最高気温を表したものである。最低気温と最高気温の差が最も大きかった曜日を答えなさい。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
最低気温 (°C)	-2	-3	-6	+1	-4
最高気温 (°C)	+7	+9	+4	+8	+7

$\text{高} - \text{低}$
 $\text{火曜日: } 9 - (-3) = 9 + 3 = 12$
 $\text{水曜日: } 4 - (-6) = 4 + 6 = 10$
 $\text{木曜日: } 8 - (+1) = 8 - 1 = 7$
 $\text{金曜日: } 7 - (-4) = 7 + 4 = 11$
 $\text{月曜日: } 7 - (-2) = 7 + 2 = 9$

必 差を求めろ!

答え 火曜日

- 2 右の表は、3人の生徒A・B・Cの身長を、上の段は160cmを基準として、下の段はクラスの平均身長を基準として、それぞれ基準より何cm高いかを正負の数で表したものである。次の問いに答えなさい。

生徒	A	B	C
160cmとの差(cm)	+4 (160+4)	-2 (160-2)	ア
クラスの平均身長との差(cm)	+7	+1	-3

- (1) クラスの平均身長を求めなさい。

答え 157

$\text{A: } 164 - (+7) = 164 - 7 = 157$
 $\text{B: } 158 - (+1) = 158 - 1 = 157$

- (2) 表のAに当てはまる差を求めなさい。

答え -6

$157 - 3 = 154$
 154cm は基準の160cmより6cm低い
 $\Rightarrow \text{Aは } -6$

- 3 自然数の集合において、計算結果が常に自然数になるとは限らないものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

(ア, 加法 イ, 減法 ウ, 乗法 エ, 除法)

正の整数で、0やマイナスは含まない。
1, 2, 3, 4, 5, ...

答え イ, エ

ア. 加法
 $1 + 2 = 3$
 $3 + 4 = 7$
 $\vdots$
 和は常に自然数

イ. 減法
 $5 - 2 = 3$
 $7 - 8 = -1$
 $9 - 3 = 6$
 $6 - 8 = -2$
 $\vdots$
 差は常に自然数になるとは限らない

ウ. 乗法
 $2 \times 4 = 8$
 $12 \times 12 = 144$
 $6 \times 8 = 48$
 $5 \times 3 = 15$
 $\vdots$
 積は常に自然数

エ. 除法
 $4 \div 2 = 2$
 $3 \div 1 = 3$
 $5 \div 2 = \frac{5}{2} = 2.5$
 $4 \div 10 = \frac{4}{10} = \frac{2}{5} = 0.4$
 $\vdots$
 商は常に自然数になるとは限らない